



♣グリーン・電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者

グリーンコープでんき通信 VOL.61

2023年10月30日発行
一般社団法人グリーンコープでんき



9月19日

託送料金認可取消請求訴訟『控訴審』への応援をお願いします。
～第一審の「不当判決」を受けて「控訴」へ。その第1回口頭弁論が行われました！

グリーンコープの思い

経済産業省令による「賠償負担金」と「廃炉円滑化負担金」の
託送料金(電気料金)への上乗せは、認めない!!
国の独断は許さない! 守ろう 民主主義!!

『控訴理由書』で主張していること

- ❖ 提訴の時から私たちが司法(裁判所=法をつかさどるもの)に求めているのは、主権者(国民)と主権者から業務やときに権限を委託される者(大臣や官僚)との関係の根幹についての是非判断なのですが、一審判決はその判断から逃げたものでした。
- ❖ 第二審で私たちは、一審判決が基礎においた「賠償負担金や廃炉円滑化負担金が電気の全需要家が公平に負担すべき電気事業に係る公益的課題に要する費用である」に対して、「これらは公益的課題に要する費用ではない」ことを明確に立証していくことにしました。
- ❖ それに対し、被告(国)がどのように反論をしてくるのを見据えていくこととなります。そして、主権者と主権者から業務や時に権限を委託される者との関係の根幹について納得できる判断を司法には示してもらいたいと考えています。



報告集会上に臨む弁護団と原告メンバー

【9月19日『控訴審』第1回期日】

■ 期日前行動 (六本松公園から裁判所前まで行進)
弁護団はじめ組合員ら約40人が集結し、控訴審へ向かうにあたって、横断幕・のぼり旗を掲げてアピール行進を行いました。



■ 第1回口頭弁論(意見陳述)
弁護団団長の小島弁護士がパワーポイントを使って、約40分に亘り意見陳述を行いました。
※控訴審には、国の要職(経済産業省電力システム改革委員会や電力・ガス取引監視等委員会初代委員長など)を務めた八田達夫さんから意見書が届けられ、意見陳述はそれをもとにした内容となります。

■ 記者会見・報告集会
閉廷後、弁護士会館2階大ホールで記者会見・報告集会を行いました。(写真左)

※本誌2ページに「託送料金問題」のポイントを紹介しています。是非お読みください。

原発事故に係る「賠償負担金」と原発を廃炉にする費用「廃炉円滑化負担金」が託送料金(電線使用料)に上乗せされて、私たちの電気代から徴収されています。

「それは間違っている。おかしい!」、原発に関わる費用は、原発を持っている発電会社が負担すべきと考え、グリーンコープは司法に問うています。

① 脱原発運動の始まりは、35年前。

グリーンコープ設立と同時に始まった脱原発運動の一つの到達点として、2012年に「自分たちが使う電気は自分たちでつくる」発電事業(市民発電所づくり)と、2016年の電力自由化をうけて、「原発フリーのグリーンコープでんき」の小売事業に踏み出しました。二つの事業を進めていく中で「託送料金問題」と向き合うことになりました。託送料金は、電気代の1/3を占めています。

③ 「託送料金」は、「電線使用料」のこと!

その電線使用料の中に、なぜ原子力関連の経費が上乗せされるのでしょうか。グリーンコープは2016年からさまざまに調査・検証してきました。調べれば調べるほどに「原発関連経費の託送料金上乗せは、おかしい!」という確証を得るようになりました。そのことを経済産業省やグリーンコープのエリアの大手電力会社を訪ねて、確認するとともに、私たちの要望や願いを届けてきました。

⑥ 第一審から第二審(控訴審)へ。

高等裁判所で審理される「託送料金認可取消請求控訴事件」は、「なぜ、原発の費用が託送料金に上乗せされるのだろう?」という、誰もがおかしいと思うことを控訴審で続いて問うていくことになります。司法にグリーンコープの組合員の思いを届けて、きちんと判断してもらうために、みんなの力で託送料金訴訟を支えていきましょう。

こんなことがまかり通れば、民主主義は守れません

電気契約者が知らないうちに支払っています

国会で審議されないまま決まっています

未来の子どもたちがそのツケを背負わされてしまいます

② 本来、「託送料金」に入るべきではない原発費用(原発を維持するための費用(電源開発促進税・使用済燃料再処理等既発電費)、そして2020年10月から「賠償負担金」と「廃炉円滑化負担金」が託送料金に上乗せされています。(グリーンコープでんきは、訴訟をしているため、契約者から徴収していません)

④ どれだけ対話をしても理解は得られませんでした。

最後の手段として裁判に訴えることはできないか、2年半にわたる組合員検討を経て、2020年2月12日にグリーンコープ共同体臨時総会を開催し、「託送料金訴訟」に踏み出すことを決めました。

⑤ 2020年秋、福岡地方裁判所に訴状を提出。

「託送料金認可取消請求事件」の第一審が始まりました。第1回口頭弁論期日(2021.1.13)から第9回口頭弁論期日(2022.11.14)までの審理を経て結審、そして2023年3月22日に「原告の請求を棄却する」という判決が言い渡されました。受けて、その判決は不当であるとし、「控訴する」ことを決めました。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

「控訴審」第2回期日(口頭弁論)の傍聴のご案内

【日時】2023年12月14日(木) 14時30分～
※14時頃までに裁判所1階ロビーに集まってください。裁判所の案内があり次第、傍聴席に入ります。

【場所】福岡高等裁判所「第1号法廷」
【報告集会】閉廷後、弁護士会館で報告集会を行います。

講演

原発回帰・推進法 「GX推進法とGX脱炭素電源法」を知ろう！！

報告

水俣病の未来への継承・熊本震災復興に頑張っている団体からのメッセージ

【主催】一般社団法人水俣・熊本みらい基金



2023年8月2日、「水俣・熊本みらい基金」(以下、つんなう基金)の主催で、国が進めている「GX関連法」に関する講演会と助成団体の報告会をオンラインとくまもと県民交流館パレアを現地会場としたハイブリッドで開催し、平日にもかかわらず約80人もの参加がありました。

原発回帰・推進法と言われる「GX推進法」や「GX脱炭素電源法」は、原発が推進されても脱炭素にもエネルギーの安定供給につながらないのではないかと疑問視されています。今講演会では、東北大学明日香教授を講師にGX関連法の問題点について話を聞き、GX関連法がいかに愚策であるかを改めて知る機会となりました。

また、助成団体の報告会では、2019年から2022年度までの4年間助成を受けてきた8団体から活動報告がありました。4年間継続して助成を受けて活動してきた団体が一堂に会し、つんなう基金関係者と出会えたことも大きな意味がありました。こうした人と人との出会いがさらなる活動へとつながっていくことをみんなで確認することができました。

つんなう基金は、「全国ご当地エネルギー協会が運営する水俣薄原太陽光発電所(定格出力1814.4kW/低圧25区画)とグリーンコープでんきが運営する「グリーン未来ソーラー」(374kW/低圧10カ所)の売電収益の一部を原資(初年度は約300万円)として、水俣病事件の未来への継承と熊本震災復興を目指して、2019年に発足しました。発足当初は19団体へ助成を行いました。以降、2020年と2021年は、新型コロナの影響で新規団体の受付をせず、第一期申請団体への継続的な助成を中心に行ってきました。そして2022年は、新たな団体も加わり16団体への助成を行いました。

2023年度は、新規5団体が増えて、21団体からの申請を受け付けています。

2023年度「水俣・熊本みらい基金」の助成団体が確定!!

～下記の団体に助成金をお届けしました～

- ①NPO植物自然の力
- ②Photography Misson Minamata
- ③TORCH
- ④一般社団法人環不知火プランニング
- ⑤水俣病事件資料集編纂委員会
- ⑥一般社団法人水俣病センター相思社
- ⑦本願の会
- ⑧水俣未来会議
- ⑨水銀に関する水俣条約推進ネットワーク
- ⑩一般社団法人きぼう・みらい・みなまた
- ⑪自然とくらし研究会
- ⑫カライモボックス
- ⑬水俣・写真家の眼
- ⑭NPO法人みるくらぶ
- ⑮阿蘇の灯
- ⑯すがの里
- ⑰山都の森と水を守る会
- ⑱NPO法人にしはらたんぼぼハウス
- ⑲ぶどうの木
- ⑳産廃処理施設を考える会
- ㉑FoE Japan



●講師の明日香壽川さん(前列左から3人目)と「つんなう基金」関係者、助成団体の皆さん

【活動報告をされた団体】

- ①NPO法人植物資源の力
- ②フォトグラフィミッション水俣
- ③TORCH
- ④(一社)環不知火プランニング
- ⑤水俣病事件資料集編纂委員会
- ⑥(一財)水俣病センター相思社
- ⑦NPO法人みるくらぶ
- ⑧すがの里

報告会終了後は、助成団体の皆さんと「基金」関係者の交流会がもたれ、和気あいあいとした雰囲気の中で会話が進みました。



■グリーンコープでんき

9月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、グリーンコープ事業所、組合員契約件数、グリーンコープ商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GCしがまる生協	1	1	8
GC生協おおさか	8	58	274
GC生協ひょうご	8	35	177
GC生協とっとり	3	51	243
GC生協(島根)	1	106	456
GC生協おかやま	4	199	833
GC生協ひろしま	9	229	1,018
GCやまぐち生協	5	473	2,020
GC生協ふくおか	98	1,981	8,783
GC生協さが	17	122	721
GC生協(長崎)	13	225	1,159
GC生協くまもと	35	543	2,847
GC生協おおいた	15	306	1,350
GC生協みやざき	2	163	611
GCかごしま生協	10	213	958
単協計	228	4,704	21,450
(一社)グリーンコープでんき(低圧)	70		569
(一社)グリーンコープでんき(高圧)	67		4,815
総合計	365	4,704	26,834

8月9月の電源構成

【関西電力エリア】

ながわ小水力発電所	98.5%
三峰川第一・第二発電所	0.2%
卒F I T太陽光発電	1.3%

【中国電力エリア】

岡山東部クリーンセンター	54.3%
敦賀グリーンパワー	41.2%
卒F I T太陽光発電	4.5%

【九州電力エリア】

敦賀グリーンパワー	51.2%
鹿児島市南部清掃工場	24.4%
鹿児島市北部清掃工場	21.3%
卒F I T太陽光発電	1.9%
杖立温泉バイナリー発電所	0.8%
馬洗瀬小水力発電所	0.4%

※グリーンコープでんきはその電源となる発電所を特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には原発由来の電気は一切含まれていません。

グリーンコープでんきの関西エリアで主要電源となっている『ながわ小水力発電所』の所在する、松本市安曇野では、梅雨明けから続く雨不足の影響が顕著になっています。奈川の東京電力奈川渡ダムでも梓湖の水位が大きく下がって、上部では底が見えており、この地域で生まれ育ったさとやまエネルギーの代表者も「これほど水位の下がった湖を見るのはこれまでに経験したことがない」ととても驚きの様子でした。

この記録的な少雨のために9月の発電量は想定していたよりも大きく下振れしています。また、小水力発電の特性上、濁水発生時には機器の保護のために取水を制限し、発電機を停止しなければなりません。近年、多発している短時間での大量の降雨は濁水を発生させ、こちらも発電量に大きな弊害をもたらしています。地球温暖化はこのようなところにも悪影響を及ぼしています。

■市民発電所

《23年8月9月の発電と売電実績》

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)	出力制御
神在太陽光発電所	1,057	205,860	8,234,400	0時間
平池水上太陽光発電所	1,260	266,418	9,591,060	—
深年太陽光発電所	1,550	313,404	11,646,965	57分
若宮物流センター	47	9,464	340,696	—
広島物流センター	47	9,441	339,861	—
やまぐち西部地域本部	54	10,688	342,028	—
グリーン未来ソーラ(10箇所)	244	80,490	1,690,284	307回
合計	4,259	895,765	32,185,293	

(一社)グリーンコープでんき発電所の22年度との実績比

- ・発電量 22年度実績比 106.2% (+52,635kWh)
- ・売電額 22年度実績比 92.2% (+936,484円)

- ・神在太陽光発電所・深年太陽光発電所・グリーン未来ソーラーでは、代理制御による出力制御時間(回数)を含みます。
- ・若宮物流センター・広島物流センター・山口西部地域本部の本来制御は他オンライン発電所で代理制御されています。

■グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億7千8百49万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、2023年7月31日現在で、10億7千84万円になっています。

《23年9月27日現在の単協別実績》

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
しがまる生協			
GC生協おおさか	175	200	15,410,000
GC生協ひょうご	74	85	5,980,000
GC生協とっとり	121	132	10,250,000
GC生協(島根)	225	235	11,160,000
GC生協おかやま	133	148	12,580,000
GC生協ひろしま	635	783	83,437,000
GCやまぐち生協	516	598	38,540,000
GC生協ふくおか	4,998	5,830	501,960,000
GC生協さが	292	336	43,825,000
GC生協(長崎)	534	593	53,339,000
GC生協くまもと	1,396	1,609	125,036,000
GC生協おおいた	732	819	66,964,000
GC生協みやざき	261	298	24,765,000
GCかごしま生協	665	771	77,031,000
合計	10,757	12,437	1,070,277,000

- ・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費や発電事業立ち上げのための資金(社債)に充てられています。
- ・2023年9月次支出総額は7億9千2百95万円で、残高は1億8千5百54万円となっています。
- ・市民発電所の建設は継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	972,630,500
これまで支出した事業と金額	792,954,259
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、オンサイトPPA太陽光発電所(3)	
グリーン電力出資金の残高	179,676,241